中学校の「部活動拠点校」への移動支援サービス導入実証事業（徳島県美馬市）

国土交通省

区分	A 中小都市、過疎地など【人口10万人未満の自治体】	子どもの安心安全な移動確保・機会格差是正	他分野による交通事業の活用	こども・子育て×交通	教育・スポーツ・文化×交通	商業・農業×交通

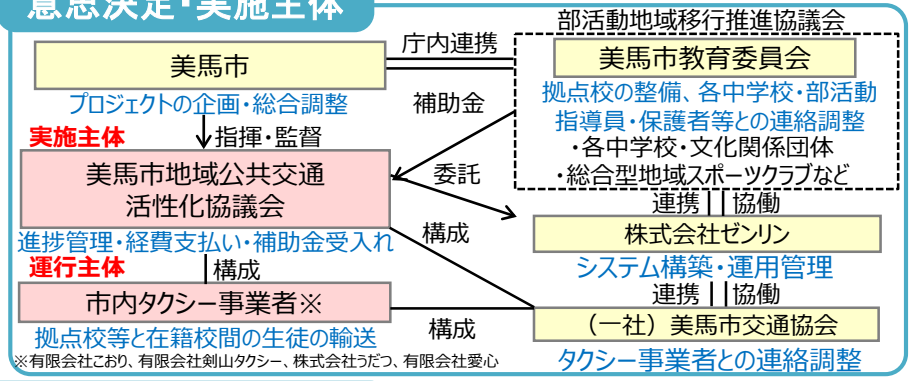
対象地域

- 地域：徳島県美馬市
- 人口：28,055人
- 世帯数： 11,244世帯
- 高齢化率： 39.1%
- 面積：367.14㎢

背景・お困りごと

- 急激な少子化により、**複数校で部活動を行い合同チームを組織**する必要がある中で、**部員の入学・卒業などに伴い、乗降場所・人数等の変更**が必要となることが明らかになった
- 過疎地域にある本市の中学校では、公共交通機関が乏しいため、**保護者が練習のための学校間の送迎をできない生徒は、在籍校にない部活動を断念せざるを得ない**状況である

意思決定・実施主体



実施内容

放課後に部活動のため学校間を移動する際の交通基盤を確立することを目的に、部活動毎に整備した拠点校等と生徒の在籍校をジャンボタクシーを使って無料で送迎するデマンドバス配車システムを導入

概要

- モード：一般乗合旅客自動車運送事業（道路運送法４条許可）
- 予約方法：事前予約※
- 料金：無料

※学校及び部活動指導員がタブレットにより予約

工夫・重要ポイント

- 初期段階ではFAXを活用したアナログ方式による送迎システムを採用していたが、**現在はICTを活用したデジタル方式**に切り替えた
- タブレットのGPSを活用して**子供の移動中の位置情報を保護者に対してリアルタイムに確認**できる仕組みを導入することで**子供の安全性確保**とともに**保護者の安心感の向上**を図った
- タクシー運転士がタブレットを使用して予約の確認や乗降者をチェックする際、**操作に慣れるまでの対面での説明やフォロー**を行い、特に高齢の運転士に対しては、訪問や電話でのサポートを重ねた

運行実績・成果

運行実績

- 運行期間：2024/10/1～2025/1/31
- 利用者数：788名
- 平均乗合人数：3.8人/1運行

収入		0円
支出	初期費用	12,342,990円(システム構築、チラシ作成等)
	ランニングコスト	1,584,360円（運行費、システム利用料等）
損益		▲13,927,350円※（共創・MaaS実証プロジェクトを活用）

成果

- 中学生からは以前より便利になったと回答した割合が「59.3%」を占めており、具体には「両親の都合で部活に参加出来なくなることが減った」「部活の練習時間が増えた」など利便性の向上に寄与した意見が挙がっている
- 一方、保護者からは送迎回数やシステム導入に関する効果については「以前と変わらない」との回答が多くの割合を占めた

今後の事業展開

<今後の事業展開時の運行における根拠法令（予定）：道路運送法第4条許可>

- 市単独で市費負担により事業を継続する予定であり、休日における部活動は「地域移行」を進めることから、原則として有償となる可能性があるため、休日に運行する場合については一定の負担軽減措置を取った上で保護者に負担を求める予定